

白川地区まちづくり懇談会(新庁舎整備事業)

【質疑応答記録】

日 時：令和4年11月18日（金）

19：30～21：00

場 所：白川町町民会館

大研修室

参加者：28名

凡例	■：質問・意見	➡：白川町	⇨：設計事務所
----	---------	-------	---------

<質疑応答>

- 聴覚障害者等のために、お知らせランプを設置してほしい。防災無線が聞こえない人もいるので、目で見えて分かるようにしてほしい。
⇨どんな方にも安全安心に使ってもらえる庁舎を目指しているので、検討していきたい。どこに設置したら効果的なのかなど、また教えていただきたい。
- 少子高齢化社会の中で、人が集まる場所や図書機能などは本当に必要なのか。
➡図書機能は、図書館を配置するイメージではなく、待合スペースの一角に本棚が少し置いてある図書コーナーのイメージ。庁舎をつくるにあたって、町民アンケートの結果や、庁舎検討委員会での議論の中で、「役場は用事がないと行かない」や「行きづらい」といった意見をもらった。職員としてもこれまでの役場のイメージを変えていきたいという思いもあり、待合い場所としても使え、より気楽に寄ってもらえるような庁舎にしたいと、多目的スペースを設けている。
- 県内の公共施設では、屋根を木造にしたため、雨漏りが問題になっているが新庁舎では大丈夫か。また県道側がガラス張りになっていて、掃除が大変ではないか。
⇨新庁舎の屋根は、切妻屋根でシンプルな造りとなっており、雨漏りしにくい構造になっている。2階の全周囲にバルコニーを設置してあるので、職員でも掃除でき、外壁工事等もお金をかけずに行うことができる。軒を深くしているので、外壁に雨だれ等の汚れが付きにくくしている。
- 町有林を切った後の植林はどのように考えているか。皆伐したら土砂崩れなどの心配があるし、植林できる人材も少なくなっている。
➡町有林の伐採は、一部皆伐もあるが、間伐を中心に行っている。林道が近くにあり、作業しやすい場所を選定しており、植林する際も作業がしやすいと考えている。現在は、地域おこし協力隊に2名の林業従事者がいる。引き続き、技術者を育成する仕組みを検討していきたい。